

# グリーンツーリズム，エコツーリズムを とりれた青森県への修学旅行実施報告

神奈川県立荏田高等学校 安 田 直 樹

## I. はじめに

神奈川県立荏田高校では、昨年度実施した修学旅行にはじめての試みとしてグリーンツーリズム，エコツーリズムをとりいれ実施した。今回，青森県での体験学習を中心に報告したい。

荏田高校のここ10年間に実施された修学旅行は，北海道での地理歴史学習（アイヌ民族に関する学習や札幌・小樽・函館等での班別自主行動など）とアドベンチャー体験学習（ラフティング・カヌー・マウンテンボードなど）をとりいれたものと，沖縄での平和学習とマリンスポーツ等の体験学習をとりいれたものがほぼ交互に実施されていた。今回，修学旅行を企画する際，これまでと違ったやり方はないかと学年団で考え，世界遺産地域でのエコツーリズムの実践やグリーンツーリズムをとりいれた修学旅行ができないかと考えた。その結果，方面として屋久島を含む鹿児島方面と白神山地を含む青森・函館方面に絞って選考したところ，費用等の面で青森・函館方面に決定した。

荏田高校は，横浜北部の港北ニュータウンのはずれに位置する。開校28年目，1学年8クラスの神奈川県立高校としては規模の大きな学校に属する。8クラス中1クラスは体育コースで，スポーツが盛んで活発な生徒が多い。今年は陸上競技，水泳で全国大会に出場したのをはじめ，いくつもの運動部が関東大会や県大会上位に進出した。また，文化部の活動も盛んで，吹奏楽部は3年前，美術部，文芸部は昨年の高文連全国大会に出場した。

## II. 修学旅行報告

### 【1】コース概要

#### 1日目

東京駅－八戸駅－奥入瀬溪流散策－十和田湖（遊覧船乗船）－十和田湖畔休屋（宿泊）

#### 2日目

コース別体験学習（平賀町でのグリーンツーリズム実践・白神山地でのエコツーリズム実践）－十和田湖畔休屋（宿泊）

#### 3日目

十和田湖－三内丸山遺跡－青森駅－青函トンネル－函館駅－市内班別自主行動－函館山夜景見学－函館市内（宿泊）

4 日目

函館市内班別自主行動－函館空港－羽田空港

【2】奥入瀬・十和田

焼山で昼食をとった後、奥入瀬渓流散策へ。バスの窓越しに、奥入瀬の流れをみながら散策のスタート地点である白糸の滝付近へ。ここから銚子大滝まで、ゆっくりと約1時間歩く。生徒たちは、渓流の美しさに感動しながら歩いていた。



十和田湖畔子の口から休屋まで遊覧船に乗船、休屋のホテルに宿泊。宿では夕食時に津軽三味線・ねぶた囃子実演を楽しむ。



### 【3】平賀町でのグリーンツーリズム

平賀町は、2005（平成16）年度から本格的にグリーンツーリズム事業を展開している。ショートステイ（1日もしくは半日体験）が基本だが、希望すればロングステイ（農家に宿泊しての体験）もできるという。今回は、168名の生徒が、28の農家に分かれて、リンゴの農作業体験・稲刈り体験などを1日行った。

当日は、役場横ネプタ展示館前で入村式を行ったあと、各受け入れ農家ごとに分かれて、リンゴの農作業体験を中心とする活動に入った。生徒たちはさまざまな農作業体験の他、昼食作りなどを農家の方と一緒に行き交流を深めた。体験を終えての閉村式では、農家の方たちとの別れを惜しんで泣いている生徒の姿もあった。



### 【4】白神山地でのエコツーリズム

エコツーリズム体験は、西目屋村のアクアグリーンビレッジANMONからのブナ林散策コースで実施した。147名の生徒が8グループに分かれ、各グループに1名の解説員がついてブナ林へ入った。解説員の案内のもと、約2時間ブナ林散策道を歩いた。

白神山地からの帰り、弘前市リンゴ公園で、リンゴ狩り体験を行った。ここで、NHK青森放送局の取材を受け、6時台のニュースで生徒たちの姿が放映された。その後、弘前城などを見学してから宿泊地である十和田湖畔へ戻った。



### 【5】三内丸山遺跡

クラスごとの記念写真撮影のあと、クラスごとに遺跡ガイドが1人ついて、説明を受けながら遺跡見学を行った。ガイドさんの説明は、かなり詳しいものであったが、津軽なまりの言葉に慣れていないせいか、生徒たちには不評であった。函館へ移動する電車の時間もあったため見学時間が約40分程度しかとれなかったため、じっくり見られなかったのが残念であった。



## Ⅲ. 修学旅行を終えて

### 【1】農家への手紙・白神山地の感想

修学旅行終了後、お世話になった農家の方への礼状と白神山地の感想を生徒たちが書いた。いくつか紹介します。

ーお世話になった農家への礼状ー

＊外川さんへ

お元気ですか？自分達はとても元気です。畑で取ったりんごととてもおいしかったです。休みの途中に飲んだりんごジュース，家族のお土産にしました。自分は将来青森に住みたいと思っています。畑でのりんご狩りはかなり楽しく自然と一心同体になった気分でした。自分はとても自然が好きなのでずっと青森にいて，りんご狩りや軽トラックの後ろに乗り，青森の空気を感じていたいと思いました。あんなに自然がいっぱいな場所に住んでいたら自分は最高です。山の上からの景色なんかは特にきれいでした。お昼に食べたカレーは自分の家で食べるのとは比べものにならないくらい美味しかったです。又今度機会があったらぜひ外川さんのりんご畑に行かせて下さい。そうしたらまた，りんごでキャッチボールをしましょう。（男子生徒）

＊田中尚子さんへ

先日は修学旅行の体験学習でお世話になりました。私のおじいちゃんの家は川崎と東京にあるので農業など全く経験したことが無く本当に貴重な体験ができました。お昼にカレーを食べながらいろいろお話をしたことがとても楽しかったです。人生初のりんご狩りは最初はなれなくてりんごを落としてしまったりしたけど，何回もくり返し作業をすることで，袋をとったり葉をちぎったりするのがだんだん速くできるようになってとても嬉しかったです。初めての経験にとまどう私達に優しく指導して下さいったことは決して忘れません。あの日にもらったりんごを，この前家族でいただきました。みんな“セカイイチ”の大きさにびっくりしていました。すごく良い思い出とお土産をありがとうございました。（女子生徒）



－白神山地の感想－

白神山地を歩いてみて

山登りを2時間とか結構大変だったけど，疲れも感じさせないほど美しく豊かな自然が広がっており，2時間飽きることがありませんでした。ニッポンにまだこんなにも綺麗な川が，水が，森があるなんて，少し安心した気持ちと，この森をこんなにも美しく守り続けてきた現地の人た

ちへの尊敬、感謝の気持ちを持つことが出来ました。ガイドさんが「この木に耳をあてると木の呼吸が聞こえるんだよ」と言っていました。実際には聞こえなかったけど何かが聞こえたような気がして、すごく優しい気分になりました。一番感動したのは空気！目には見えないけどすごい量のマイナスイオンがあったです。身体の底からあの空気できれいになった気がしました。これからはあの美しい自然を守り続けるために、何か自分ができることを探したいと思いました。

（女子生徒）

白神山地はすばらしい！

建造物の世界遺産は見たことはあったけど、自然の世界遺産を見たのは白神山地が初めてだったので感動しました。何年も昔に降った雨が、今わき水として出てきているところや倒れた木の上から百種類もの新たな植物が芽を出していて驚きました。白神山地の木は全て紅葉樹林と聞き自分達が行ったときはまだ紅葉していなかったの、次はぜひ紅葉している季節に行きたいと思いました。そして、ここの地面は腐葉土になっていて、それは広葉樹林の葉が何百年もかけて落ちて出来たと聞いてびっくりしました。その紅葉樹林の一つ、ブナの話もたくさん聞けて勉強になりました。一番驚いた話はブナが酸素の排出量が第二位で、深呼吸をすればすぐに落ち着くという話でした。今回の修学旅行で行ったときは、白神山地の最初のほうしか歩いてないので、次は奥の方まで歩いてみたいです。（男子生徒）



## 【2】アンケート

旅行後、青森県の印象などについて簡単なアンケートをとってみた。

### －アンケートの質問と結果－

Q あなたの性別は

男子	女子	計
151	143	294
51%	49%	

Q 奥入瀬の印象について どうでしたか

	全 体		男 子		女 子	
良かった	167	57%	82	54%	85	59%
やや良かった	83	28%	48	32%	35	24%
どちらでもない	32	11%	14	9%	18	13%
やや悪かった	3	1%	1	1%	2	1%
悪かった	9	3%	6	4%	3	2%
計	294		151		143	

Q 奥入瀬には

	全 体		男 子		女 子	
ぜひまた来たい	87	30%	43	28%	44	31%
できたら来たい	115	39%	63	42%	52	36%
どちらでもない	65	22%	29	19%	36	25%
あまり来たくない	17	6%	11	7%	6	4%
もう来たくない	10	3%	5	3%	5	3%
計	294		151		143	

Q 十和田湖の印象について どうでしたか

	全 体		男 子		女 子	
良かった	189	64%	86	57%	103	72%
やや良かった	77	26%	49	32%	28	20%
どちらでもない	20	7%	11	7%	9	6%
やや悪かった	6	2%	4	3%	2	1%
悪かった	2	1%	1	1%	1	1%
計	294		151		143	

Q 十和田湖には

	全 体		男 子		女 子	
ぜひまた来たい	113	38%	49	32%	64	45%
できたら来たい	109	37%	60	40%	49	34%
どちらでもない	62	21%	37	25%	25	17%
あまり来たくない	7	2%	4	3%	3	2%
もう来たくない	3	1%	1	1%	2	1%
計	294		151		143	

Q 体験学習について

	全 体		男 子		女 子	
農業体験	155	53%	45	30%	110	77%
白神トレッキング	139	47%	106	70%	33	23%
計	294		151		143	

Q 平賀町での農業体験はどうでしたか

	全 体		男 子		女 子	
良かった	125	81%	25	56%	100	91%
やや良かった	27	17%	19	42%	8	7%
どちらでもない	3	2%	1	2%	2	2%
やや悪かった	0	0%	0	0%	0	0%
悪かった	0	0%	0	0%	0	0%
計	155		45		110	

Q 平賀町には

	全 体		男 子		女 子	
ぜひまた来たい	88	57%	16	36%	72	65%
できたら来たい	47	30%	20	44%	27	25%
どちらでもない	15	10%	7	16%	8	7%
あまり来たくない	2	1%	1	2%	1	1%
もう来たくない	3	2%	1	2%	2	2%
計	155		45		110	

Q 白神でのトレッキング体験はどうでしたか

	全 体		男 子		女 子	
良かった	48	35%	32	30%	16	48%
やや良かった	63	45%	51	48%	12	36%
どちらでもない	14	10%	11	10%	3	9%
やや悪かった	7	5%	6	6%	1	3%
悪かった	7	5%	6	6%	1	3%
計	139		106		33	



Q 白神には

	全 体		男 子		女 子	
ぜひまた来たい	51	37%	38	36%	13	39%
できたら来たい	50	36%	41	39%	9	27%
どちらでもない	28	20%	20	19%	8	24%
あまり来たくない	4	3%	3	3%	1	3%
もう来たくない	6	4%	4	4%	2	6%
計	139		106		33	

Q 三内丸山遺跡の印象について どうでしたか

	全 体		男 子		女 子	
良かった	32	11%	14	9%	18	13%
やや良かった	55	19%	27	18%	28	20%
どちらでもない	126	43%	62	41%	64	45%
やや悪かった	38	13%	23	15%	15	10%
悪かった	43	15%	25	17%	18	13%
計	294		151		143	

Q 三内丸山遺跡には

	全 体		男 子		女 子	
ぜひまた来たい	20	7%	10	7%	0	7%
できたら来たい	38	13%	16	11%	22	15%
どちらでもない	128	44%	67	44%	61	43%
あまり来たくない	56	19%	31	21%	25	17%
もう来たくない	52	18%	27	18%	25	17%
計		294	151	143		

アンケート結果から、青森県を代表する自然景観が楽しめる観光地である奥入瀬・十和田湖は高校生にとっても印象が良かったようである。天候に恵まれたせいもあり、美しい景色に感動する姿が多く見受けられた。

平賀町でのグリーンツーリズムは、農業体験はもとより、農家の方々とのかかわり合いが多く、多くの生徒に感動を与えてくれたようである。特に女子生徒は、今回のグリーンツーリズムに満足している回答がとて多かった。その結果、平賀に対する印象もよく、いつかまた来てみたい生徒も多かった。

白神でのエコツーリズムは、白神のほんの入口しか見ていないわけであるが、それでも自然のすばらしさに感動する回答が多かった。

三内丸山遺跡は、見学時間が短かったせいもあり、ゆっくり見学できなかったためか、生徒たちには印象が薄かったし、あまり興味を持てなかったようである。

### 【3】グリーンツーリズム、エコツーリズムを取り入れた修学旅行を青森県で実施してみても

修学旅行の行き先に青森・函館が決まり、内容に農業体験が含まれていることに多くの生徒からなんで青森なの？何で農業体験なの？という不満の声が出た。今までの修学旅行先が沖縄か北海道だったため、本来の学習という意味での修学旅行がわかっていない生徒には、かなり不満であったようである。しかし、行ってみると不満の声はどこえやら。奥入瀬・十和田の美しさに感動し、平賀での体験、白神での体験は一生の思い出となったという声が多く聞かれた。今回、日程の都合でグリーンツーリズム、エコツーリズムのどちらか一方しか生徒は体験することができなかったが、やはり両方とも体験できたらいいと思った。生徒たちの満足度が高かっただけに両方とも体験させてあげたかった。残念だったのは、生徒数が多いため宿泊施設が限られてしまい、津軽地方に適した場所がなく十和田湖畔からの移動となり、体験時間が十分にとれなかったことである。

青森県は、グリーンツーリズム事業を展開し、修学旅行生の受け入れ可能な市町村がいくつもあることやエコツーリズム実践の場としての白神山地もある。それに奥入瀬・十和田・八甲田の自然、三内丸山遺跡などを組み合わせ、新しい形態の高校生の修学旅行を実施する場として適した場所であると思った。

今後、青森県が首都圏の高校の修学旅行をより多く受け入れたいのであれば、農家の人とのふれあいを大切にしたグリーンツーリズムや世界遺産を体感するエコツーリズムをとり入れた修学旅行の魅力をもっとPRしていくべきだと感じた。また、宿泊施設の充実も必要であると思った。

## IV. おわりに

最後に、発表の機会を与えていただいた、後藤先生、小岩先生、弘前大学地理学会の皆様および地理学研究室の皆様に深く感謝いたします。